

● 地域提案型

平成22年度 採択内定案件

<b>I. 提案事業の概要</b>	
1. 対象国名	フィジー
2. 事業名	救急活動研修
3. 事業の背景と必要性	フィジー国家消防庁（NFA）における救急業務は、民間から移管されたばかりで、知識・技術が乏しい状況である。そのため、救急活動における基本業務についての指導が必要とされている。 松阪地区広域消防組合では2010年より応急手当技術に関する指導を行っており、継続した技術指導が求められている。
4. プロジェクト目標	救急活動における基本（出動～現場到着～傷病者観察～処置～救急車取容～病院搬送）を身につける。
5. 対象地域	フィジー諸島共和国各地域
6. 受益者層 （ターゲットグループ）	NFAの本部及び地方分署の消防隊員（約30名）
7. 期待されるアウトプット及び活動	<p>&lt;成果&gt;</p> <p>1. 救急活動における基本を身につけることにより、NFAにおいて統一した救急活動が実施できるようになる。</p> <p>&lt;活動&gt;</p> <p>1. 専門家を派遣して救急活動訓練を実施し、活動における指導・助言を行う。</p> <p>2. 救急活動訓練を実施した内容を基に、自国の状況に応じた活動マニュアルを作成させるための指導・助言を行う。</p>
8. 実施期間	2011年9月～2012年3月
9. 事業の実施体制	
<b>II. 応募団体の概要</b>	
1. 団体名	松阪地区広域消防組合
2. 活動内容	松阪地区広域消防組合では、2003年から毎年2名ずつフィジー国家消防庁の消防官を受け入れ、2008年9月現在で計12名の消防官を受け入れ、技術指導を実施している。また2006年からはフィジー諸島共和国へ当消防組合の職員を派遣し、現地での技術指導を実施し、計7名の職員を派遣している。 水難救助に関しては2007年度の専門家現地派遣から2009年度まで協力を継続しており、2010年度については業務を開始した救急業務について、技術指導のため専門家派遣を行ってきた。